



宜野湾市市勢要覧 2014

Ginowan City Administrative Guide



普天間飛行場(FAC6051)は宜野湾市の中心部に所在しており、その面積は約4.8km²である。これは宜野湾市の面積(19.7km²)の約24%を占めている。



市章は「ギノ」を図案化したもので「ギ」で躍進の翼を形どり、円で湾を表わし、協力の和と平和を表わす。
(昭和 42 年 6 月制定)



01 都市づくり基本方針

市民と共に歩み響きあう都市

02 自治会活動

02 ITを活かした行政サービス

03 教育、スポーツ

04 歴史・文化財

06 歴史・伝統文化

07 偉大な先人達

創意工夫に満ちた元気な都市

08 出会いと交流の街

08 未来が広がる西海岸地区

09 活力ある街なみ

09 都市型農漁業、農水産業振興拠点施設

09 市産品紹介

10 祭り

安心して住み続けられる都市

12 保健、健康づくり

13 消防・救急体制

13 防犯・交通安全対策

持続発展可能な美しい都市

14 環境対策

15 区画整理・道路・上下水道

平和で発展する都市

16 基地のない平和な都市

16 平和・国際交流

17 宜野湾市のシンボル

17 都市宣言・市民の誓い

18 宜野湾市の歌・小唄・音頭

19 資料編



まち 都市づくりの基本方針



将来都市像

まち 市民が主役の「ねたて」の都市・ぎのわん

宜野湾市は、将来都市像を『市民が主役の「ねたて」の都市・ぎのわん』と掲げています。この将来像の構築に向けて、五つの基本目標を設定しました。市民、事業者および行政の協働のもとに、これらの目標の実現を推進していきます。

※「ねたて」とは、古謡「おもろそうし」に表された言葉で、古琉球の時代から「物事の根元」「共同体の中心」「まつりごとの中心地」を意味しています。



- [illegible]

まち 市民と共に歩み 響きあう都市

まちづくりは地域に住み、働き、学び、憩う全ての人々と行政の協働作業です。『市民が主役の「ねたて」の都市・ぎのわん』を実現するためにも「情報の共有化と多彩な参加による市民力を育成する」「響きあい、共に育つ身心豊かな社会の実現をすすめる」を施策の柱として、人材豊かな宜野湾市づくりを推進しています。

Community development is a collaborative project between the local government and all the people who live, work, study and relax in the area. In order to make Ginowan a “Netate” city led by its citizens, we have adopted the policy of empowering the public through information sharing and diverse participation, and the realization of a caring society that promotes physical and mental health. In this way, we seek to make Ginowan a place of resourceful citizens.

自治会活動——心と心の繋がりを大切にする素晴らしい街

まちづくりの基本は人づくりです。地域が人を育て、人が地域を創造し発展させていきます。自治会は、最も身近な地域団体で、地域全体の共通の課題を解決する話し合いの場であり、心のふれ合いの場です。市内には23自治会があり、住民相互の協力のもと環境の整備、伝統行事、地域行事など住みよい地域づくりに向けた活動を行っています。



ITを活かした行政サービス——高度な情報技術を

電子自治体を推進し、行政情報化や市民ニーズを踏まえた市民の利便性の向上や業務の効率化を促進していきます。また、IT社会に対応した住民サービスの提供に向けて高度なセキュリティ対策の実施と職員のIT活用能力の向上に努めます。

便利に活用できる
IT都市の実現



教 育 —— 潤いとゆとりある教育環境の整備

人生の初期段階における学校教育においては、実践的コミュニケーション能力の向上などの基礎・基本の確実な定着を図り、生きる力を身につけるとともに、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指しています。また、社会教育の重要性はますます大きくなっていることから、市民の生きがいづくりや心の豊かさ、健康づくりに資する生涯学習や文化振興、スポーツ・レクリエーションの振興に努めています。



ス ポー ツ —— 充実したスポーツライフを楽しめる街

健康都市を宣言した本市は、市民の誰もが、生涯において各自の趣味・目的・年齢・体力に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」親しむことのできるスポーツ環境の充実・発展に努めています。



歴史・文化財 — 悠久の時を語り継ぎ受け継ぐ文化財

文化財は、永く私たち市民の祖先が生成発展させてきた薫り高い市民環境の一つであり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもあります。さらに去る沖縄戦において、多くの人命と共に数多くの歴史的・文化的財産を失った私たちにとって、その価値はより高いものであるといえますし、子どもたちにとって人が持って生まれた「人としての智恵と工夫」を教える生きた教材でもあります。

国指定文化財

① 喜友名泉(喜友名区)

② 大山貝塚(大山区)

県指定文化財

③ 小禄墓(嘉数区)

④ 小禄墓内石厨子(嘉数区)

⑤ 森の川(真志喜区)

市指定文化財

⑥ 小禄墓石彫香炉(嘉数区)

⑦ 小禄墓石彫獅子(嘉数区)

⑧ 真志喜佐喜真家文書(真志喜区)

⑨ 明治土地台帳附属地図

⑩ 我如古ヒージャガー(我如古区)

⑪ 喜友名の石獅子群(喜友名区)

⑫ 普天間の獅子舞(普天間区)

⑬ 大謝名の獅子舞(大謝名区)

⑭ 我如古スンサーミー(我如古区)

⑮ 野嵩石畳道(野嵩区)

⑯ 野嵩クシヌカー(野嵩区)

⑰ 伊佐「たけたう原」銘の印部土手(喜友名区)

⑱ 伊佐浜「新造佐阿天橋碑」(伊佐区)

⑲ 大山御嶽碑(大山区)

⑳ 西森碑記(真志喜区)

㉑ 大謝名メヌカー(大謝名区)

㉒ 大山マヤーガマ洞穴遺跡(大山区)

㉓ 普天満宮洞穴(普天間区)

㉔ 大謝名メヌカー淡水紅藻(大謝名区)

㉕ ウデナガサワダムシ

市登録文化財

㉖ 神山・愛知ヌールガー(愛知区)



ボクにも会いに来てね!



ぎのわんの歴史・文化を知っておこう!



国指定文化財 ① 喜友名泉(喜友名区)



国指定文化財
② 大山貝塚



県指定有形文化財
③ 小禄墓



県指定有形文化財
④ 小禄墓内石厨子



県指定名勝
⑤ 森の川



市指定有形文化財
⑥ 小禄墓石彫香炉



市指定有形文化財
⑦ 小禄墓石彫獅子



市指定有形文化財
⑧ 真志喜佐喜真家文書



市指定有形文化財
⑨ 明治土地台帳附属地図



市指定有形民俗文化財
⑩ 我如古ヒージャガー



市指定有形民俗文化財
⑪ 喜友名の石獅子群



市指定無形民俗文化財
⑫ 普天間の獅子舞



市指定無形民俗文化財
⑬ 大謝名の獅子舞



市指定無形民俗文化財
⑭ 我如古スンサーミー



市指定史跡
⑮ 野嵩石畳道



市指定史跡
⑯ 野嵩クシヌカー



市指定史跡
⑰ 伊佐「たけたう原」銘の印部土手



市指定史跡
⑱ 伊佐浜
「新造佐阿天橋碑」



市指定史跡
⑲ 大山御嶽碑



市指定史跡
⑳ 西森碑記



市指定史跡
㉑ 大謝名メヌカー



市指定史跡
㉒ 大山マヤーガマ洞穴遺跡



市指定名勝
㉓ 普天満宮洞穴



市指定天然記念物
㉔ 大謝名メヌカー淡水紅藻



市指定天然記念物
㉕ ウデナガサワダムシ



市登録有形民俗文化財
㉖ 神山・愛知ヌールガー

歴史・伝統文化——伝統を重んじ伝統文化を継承する

伝統文化の保存に努めるとともに、子どもたちや若者に優れた舞台芸術等の鑑賞や多様な体験活動機会を創出し、芸術文化の担い手の育成を図っています。また、文化関係団体や指導者の育成を支援し、伝統芸能の継承・発展に努めています。さらに、市内外への交流活動等を推進し、伝統文化による友好の輪を広げています。



①



②



③

■ 大綱引き (①真志喜、②宜野湾、③大山、)

五穀豊穡を願い、毎年旧暦6月に大山・真志喜で行われ、また宜野湾でも復活。綱引きの前哨戦として行われる「アギーエ（綱を高く上げ、その高さを競う）」は他の地域と異なる大きな特徴である。



■ 青年エイサー

旧盆には、各区の青年達によるエイサーが披露され、各区のそれぞれの中心地を巡り歩く「道ジュネー」などが行われる。また、年に一度、市内青年会による青年エイサー祭りも開催される。



■ 獅子舞 (大謝名、普天間)

普天間と大謝名において、旧暦7月・8月十五夜などに獅子舞が披露され、住民の家内安全や子孫繁栄を祈願する。大謝名・普天間ともに市指定無形民俗文化財。



■ 我如古スンサーミー

旧暦の3月3日の後日に行われ、豊年と子孫繁栄を祈願する女性の踊り。市指定無形民俗文化財。



■ マールアシビ (野嵩・新城)

稲の収穫を神に感謝するための奉納芸能であるムラアシビ。現在は、野嵩(子年・午年の6年周期)・新城(寅年・申年の6年周期)で行われている。

偉大な先人達 ― 現在・未来へと語り継ぐその功績

さ き ま こう えい 佐喜真 興英 (1893年～1925年)

1893年(明治26年)、宜野湾村新城に生まれる。1908年(明治41年)に沖縄県立第一中学校を首席で卒業し、その後東京帝国大学法学部へ進学。大学卒業後、司法官補・判事として福岡や宮崎、岡山県津山の裁判所に勤務し、そのかわり、民俗・民族学の研究を行った。著作には『南島説話』『シマの話』『女人政治考』があります。しかし、1925年(大正14年)に肺結核のため、31歳7カ月という若さで亡くなりました。死後、日本の民俗学の創始者・柳田国男は「彼の著述は、学界の睡を驚かす警笛の如きものであった。」と、若き興英の死を悼んでいます。



や ま だ し ん ざ ん 山田 真山 (1885年～1977年)

1885年(明治18年)、那覇市壺屋に生まれる。1906年(明治39年)、東京美術学校(現東京芸術大学)に学び、東京で日本画、彫刻、工芸の創作活動を行う。東京では、明治神宮聖徳記念絵画館の『琉球藩設置』など、歴史に残る大作を描き美術界で注目される。1940年(昭和15年)、沖縄に帰り沖縄戦を体験。息子たちを失う。戦後、普天間にアトリエを構えた。全戦没者の追悼と世界平和を希う沖縄の心を一身に担い、晩年の18年間、沖縄平和祈念像の制作に全生涯(1977年没92歳)を捧げました。山田真山画伯の平和祈念像の原型は、普天間のアトリエに今も大事に保管されています。



と う ば る し げ た 桃原 茂太 (1892年～1955年)

1892年(明治25年)、父桃原正裕(元間切長)の長男として大謝名に生まれました。弟には、桃原亀郎(14代～15代村長)がいます。県立一中卒業後、旧制第五高等学校(熊本)を経て旧制東京帝国大学法学部に進む。卒業後、東洋拓殖(株)へ入社。順調な出世コースをたどり、1934年(昭和9年)、沖縄に帰り、那覇市松山で弁護士を開業。弁護士稼業のかたわら、地元宜野湾村に足を運び村会議員や地域青年団に講演活動を行う。特に産業、経済問題に関心を寄せ、宜野湾村農民道場建設に力を注いだ。1942年(昭和17年)、衆議院議員総選挙に立候補し当選する。以後、議会活動に専念するが昭和19年の十・十空襲で那覇を引き揚げ宜野湾村に戻る。敗戦後は弟、亀郎(一時助役から村長)と宜野湾村の村政復興のため尽力する。1949年(昭和24年)、琉球開運株式会社を創設し、社長に就任。米軍政府の中、本土との架け橋に尽力したが、1955年(昭和30年)2月28日、健康にすぐれず病気で他界。63歳であった。宜野湾出身の初の国会議員。



はごろも伝説

むかし、謝名村に奥間大親という働き者の百姓がいました。奥間大親は毎日仕事が終わると森の川でスキやクワを洗っていました。その日、いつものように森の川に行くと、見たこともない美しい着物が池のそばの木にかけてありました。

奥間大親は、「こんな美しい着物は見たことがない。我が家の家宝にしよう」と、着物を家に持ち帰り、高倉の中にしまいました。再び池に戻ると、そこにはこれまた美しい天女が水浴びをしているではありませんか。

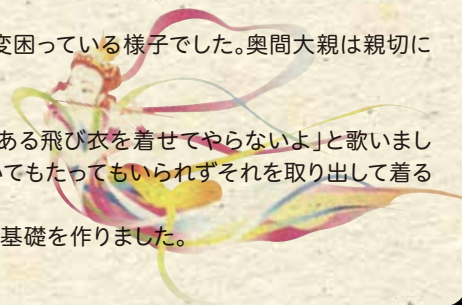
奥間大親が木の陰から見ていると、やがて天女は池から上がり、大切な着物がなくて大変困っている様子でした。奥間大親は親切に話しかけ、天女を家に連れて行き、着物を貸してやりました。

そのうち二人は夫婦になり、女の子と男の子をもうけました。

ある日、泣いている弟を子守っていた姉が、子守歌の中で「そんなに泣くなら、高倉の中にある飛び衣を着せてやらないよ」と歌いました。何気なくそれを聞いていた天女は、長年探し求めていた羽衣が高倉にあることを知り、いてもたってもいられずそれを取り出して着ると、泣く泣く子どもたちを残して、天に帰ってしまいました。

残された男の子は、後に中山王・察度となり、中国への進貢貿易を始め、琉球の国づくりの基礎を作りました。

この話は、察度王生誕の秘話として、いまに伝えられています。



まち 創意工夫に満ちた元気な都市

都市としての本市の特性を活かした産業の振興や創造的な起業の支援は、個性と活力あるまちを創造・発展させていく上で大切です。本市が有する多くの地域資源や特性に着目し、絶えず新しい時代の変化に即応しながら活力あるまちづくりを推進しています。このため、観光・コンベンションの充実、商工業の振興、都市型農漁業の振興を進め、新たな宜野湾ブランドの発信に努めています。

In promoting industries founded in the characteristics of Ginowan and supporting creative businesses, it is important to establish and develop a unique and dynamic city. We are focusing on the many local resources and characteristics of Ginowan to promote lively community development that stays ahead of the changing times. Thus, the city is working to develop tourism and conventions, and to promote commerce and industry, as well as an urban agriculture and fishing industry. We are also developing a new Ginowan brand.

出会いと交流の街——「国際コンベンションシティ」ぎのわん

沖縄コンベンションセンターが立地する本市は、平成6年に「国際会議観光都市」の指定を受け、「九州・沖縄サミット」「米州開発銀行（IDB）年次総会」が開催されるなど、コンベンション開催地として国内外に広く認知されています。また、プロ野球・横浜DeNAベイスターズのキャンプも行われる野球場や体育館、多目的広場、屋外劇場、ビーチなどがあり、県内でも有数のコンベンション・リゾートエリアを形成し多彩なイベントの主会場としても利用されています。



沖縄コンベンションセンター



宜野湾トロピカルビーチ

未来が広がる西海岸地区——「リゾートコンベンションシティ」ぎのわん

リゾート沖縄のメインコアとして期待されている西海岸地区。平成20年には沖縄の海を満喫できる「マリン支援センター」、平成21年には都市機能用地第三街区の「総合スポーツレジャー施設」、第二街区の「大型コンドミニウムホテル」が、平成23年に第一街区に「大型商業施設」、平成25年には第三街区（駐車場等用地）に公共駐車場を併設した「大型総合スポーツ専門店」がオープンし、県内有数の都市型リゾートエリアとして発展を見せています。



宜野湾マリン支援センター



活力ある街なみ

商業地域の活性化、企業立地の促進と雇用の拡大

西海岸地区では大型商業施設が立地し、国道・県道沿いには海外のアンティーク家具や雑貨、アジアや南米などさまざまな国の料理、スイーツやカフェなど、地域特性を活かした個性的な店舗が建ち並び、訪れる人々を楽しませています。古くから本市の中心であった普天間地域においても、普天満宮などの地域資源を活用しながらまちの活性化に取り組んでいます。

本市は、情報通信産業振興地域、観光地形成促進地域、産業高度化・事業革新促進地域として指定を受け積極的に企業を誘致し、西海岸地域においてはコンベンション支援機能・都市型リゾート施設、観光リゾート産業関連の企業が集積し雇用の拡大につながっています。



自然の恵みを活かした都市型農漁業

コンベンションセンター近くには、豊富な湧水を利用した緑豊かな田いも畑(大山ターブックワ)が広がっています。また、西海岸は好漁場があり、ソデイカ、タイ、ハタ、マチなどが釣れるほか、タマンや海ブドウの養殖も行われています。



宜野湾市農水産業振興拠点施設

本市西海岸に位置している宜野湾漁港内の「ぎのわんゆいマルシェ」は、市特産の田いもをはじめ、地域でとれた農産物や海産物の地産地消を促進するとともに、市民と生産者とのふれあいの場として、賑わいをみせています。



市産品紹介

大山地域の豊富な湧水で栽培される田いも(ターナム)を使ったお菓子や伝統料理など、古くから親しまれる市産品のほか、市と市商工会連携による「宜野湾市特産品推奨認定制度」によって新たな特産品も次々誕生しています。



活力みなぎる**宜野湾市**を**彩**る祭り

宜野湾はごろも祭り・飛衣羽衣カチャーシー大会

毎年8月に開催される本市最大のイベントで、県内有数の祭りの一つとして数えられています。中でも約千人余の老若男女が出演するカチャーシー大会は圧巻で、見る人を巻き込むほどの迫力を持っています。また、郷土の英雄「察度王」の生い立ち、時代的背景などを具象化した「察度王歴史絵巻行列」やステージと会場が一体になって白熱するミュージックフェスティバル「ライブギノワン」など多彩な催しにより、二日間で約15万人が訪れます。



宜野湾市産業まつり

毎年11月頃に開催されるイベントで、農林水産業や商工業などが一堂に会し、品評会や展示即売会が実施されます。数多くの特産品などを広く紹介する機会として市民に密着した祭りとして定着しており、市特産の田いもを使った料理の試食や子どもたちを対象にした「魚つかみとり競争」、ヒージャーオーラセー（闘山羊）なども行われ、多くの人で賑わいます。



すごい
迫力!



青年エイサー祭り

毎年旧盆後に開催され、市内各地域の青年会が沖縄のエイサーを披露します。地域の伝統文化を受け継ぐ若者たちによって力強い太鼓が夜空に響き、また鮮やかな「絃」を身にまとった女性たちのしなやかな踊りは訪れた観客を魅了します。



ぎのわん車いすマラソン大会

県内唯一の車いすマラソン大会として、パラリンピック出場実績のある国内トップクラスの選手など県内外から多くの方が参加します。身体障がい者が車いすマラソンを通して、お互いの連帯と障がい者に対する理解を深めるとともに、身体障がい者スポーツの振興を図る大会として知られています。



琉球海炎祭

日本で一番早い夏の大花火として定着し、日本全国から多くの方が訪れます。沖縄の方言で「一度出会えば皆兄弟だから仲良くしよう」という意味の「イチャリバチョーデー（出逢えば兄弟）」をテーマに、音と光の競演で約1万発花火をより一層華やかにします。



はごろもカップ・港ふれあいフェスティバル

市のマリンレジャーの開拓、港でのイベントを通じて海とふれあう場の創出を目的として、沖釣り大会やマリンレジャー体験、各種ステージイベントなどが行われ、市内外より多くの方が訪れます。



ま ち 安心して住み続けられる都市

市民が、住み慣れた地域で健康で安心して住み続けられることは、地域コミュニティに支えられたチュイシージー(互いに支え合う)の福祉社会を実現する上で大切です。このため、保健・医療・福祉の連携と充実に努め、必要な社会サービスと相互扶助並びに生活の自立のもと、老若男女の市民一人ひとりが、健康で安心して住み続けられる元気なまちづくりを推進します。また、福祉社会の充実のほか、事件や事故、災害など、もしもの時の対応の充実も重要な要素となっています。したがって災害、台風や地震等の自然災害への対応、防犯・交通安全対策に取り組むなど、安心して住み続けられる地域づくりに努めます。

In order for the citizens of Ginowan to continue to lead healthy and secure lives in their home region, it is important to achieve a system of welfare based on mutual support within the community ("chuisheejee" in Okinawan dialect). Therefore we are working to consolidate and enhance our health and welfare services to enable every citizen, whether young or old, male or female, to lead healthy, peaceful, and independent lives. In addition to providing welfare services, we recognize the importance of managing the risks of crime, and natural and man-made disasters. Therefore, our regional development also focuses on responses to natural disasters, such as typhoons and earthquakes, crime prevention, and road

保 健 ——— 保健・医療・福祉が充実したまち

宜野湾市では、「就学前までの通院費無料化」や「中学生までの入院費無料化」を実施しました。また、高齢者が外出機会を増やし、そして趣味などを楽しむ生きがいづくりを応援するため、スポーツやマッサージ、薬局などで利用できる割引券を提供する「シルバーパスポート事業」にも取り組んでいます。その他にも様々な健康教室や健康相談、訪問指導、保健師・栄養士などによる保健指導など、医療関係機関や地域と連携して市民福祉の向上を図っています。



健康づくり ——— 健康で安心して住み続けられる元気なまち

メタボリックシンドロームなどの生活習慣病を予防するため、特定健診や特定保健指導の実施、食育の推進、集団健康教育の実施、オリジナル健康体操の普及、みずぼうそう、おたふくかぜ予防接種費用の助成など多目的にアプローチし、市民一人ひとりが健康の維持、増進に取り組めるよう施策を推進しています。



ここにキャプションを入れてください。

消防・救急体制 —— 安全な都市の暮らしを守る

市民の生命を守るため、より質の高い救急業務を目指すとともに、市民に対してもAED（自動体外式除細動器）を使用した講習会等を毎月開催し、応急手当の普及啓発を進めています。また、火災・交通事故を含めた多種多様な事故や自然災害はもとより、特殊災害にも対応した地域の消防力の強化に努め、災害時における高齢者・障がい者等の避難支援活動を推進する地域ネットワークを構築し、防災体制の強化に取り組んでいます。



防犯・交通安全対策 —— 万全な防犯体制に交通安全

地域ぐるみの防犯協力体制を強化するために、各自治会パトロール隊の結成や防犯灯の設置を推進しています。また、交通事故のない安全なまちづくりのために、スクールゾーンなどの交通安全施設の整備を行うとともに、警察署などの関係機関と連携して、街頭指導や児童・生徒に対する交通安全教育などを実施しています。



持続発展可能な美しい都市

美しい都市は、市民の誇りであると同時に、ふるさとに愛着を持つ次世代の市民を育成していく上で、大きな財産となります。本市は、都市的土地利用の中に大山の湿地帯や森の川を含む米軍普天間飛行場西側の斜面緑地や東側緑地など、自然が一定のまとまりで残っていることから、リサイクルの推進や循環型社会の構築等、自然環境や地球温暖化防止に配慮した持続発展可能な都市づくりに努めます。また、都市景観の形成、上下水道や公園・緑地等の整備においては地域の生態系や地勢等を読みとり、都市的機能と自然環境が調和した美しい都市づくりを目指します。

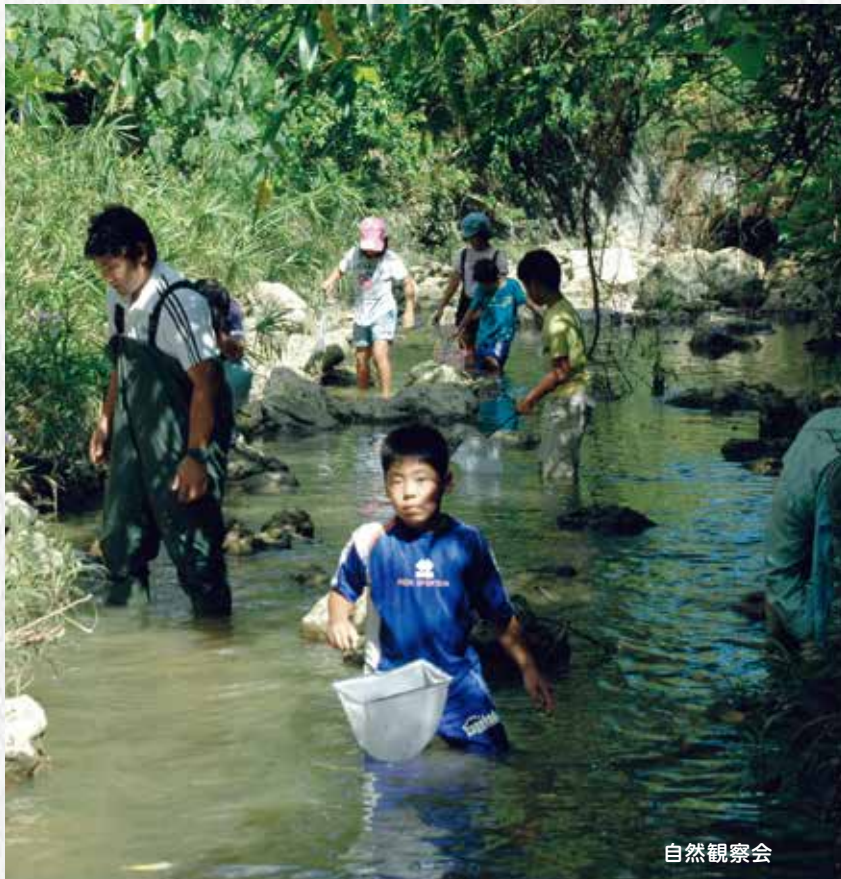
A beautiful city is a source of pride to its inhabitants and is also a major asset in fostering the next generation of citizens who will remain attached to their hometown. The natural environment of Ginowan remains intact amid urban land use, including the wetland of Oyama, the green slopes on west of the U.S. Futenma Airbase including Morinokawa, and the open space on the east side. We are working to promote a sustainable society through recycling and other measures to protect the natural environment and combat global warming. In addition, we seek to understand the regional ecosystems and topography in designing the urban landscape and providing water and sewage, parks and green areas in order to achieve a beautiful city that harmonizes urban functions with the natural environment.

環境対策 —— 環境に負荷の少ない循環型社会の構築

本市は県内でも有数の「水のまち」として知られ、特に大山地区周辺にはたくさんの湧水があり緑豊かな自然が残っています。「明るく、豊かで、心身とも健やかに暮らせる環境」を次世代に残していくために、自然環境の保護や地球温暖化など環境問題にも積極的に取り組みながら、資源やエネルギー循環型社会の形成を目指しています。また、ごみの有料化や一般廃棄物処理基本計画の改定を行い、ごみの減量化、リサイクルの推進に取り組んでいます。



清掃活動



自然観察会



ごみ減量化の講習会

区画整理・道路・上下水道

都市的機能と自然環境が調和した美しい都市づくり

本市の都市基盤整備については、水と緑に輝く快適な都市空間づくり、新たな産業・経済の振興、そして新しい時代の環境配慮型まちづくりに取り組んでおり、良好な住宅・住環境を形成しています。宇地泊、佐真下では区画整理事業が進み、市道大山7号の建設により住環境・交通の利便性向上を図っています。また、今後返還される普天間飛行場およびキャンプ瑞慶覧地区においては、跡地利用を契機とした都市構造の転換をはじめ、新しくリフレッシュされた「輝く宜野湾市」を目指すとともに、コンベンション都市にふさわしい産業・生活・文化・教育など調和のとれた安心・安全な災害に強いまちづくりを進めています。



平和で発展する都市

本市は、米軍機による爆音被害と墜落の危険性を除去するため、引き続き普天間飛行場の閉鎖・返還に向け更なる取り組みを行い、一日も早い基地の返還と市民のための跡地利用により、平和で発展する都市づくりを進めています。

To eliminate noise pollution and the risk of crashes from U.S. military aircraft, we are pursuing further initiatives to secure the prompt closure and return of Futenma Airbase, so that the citizens of Ginowan can use the site for peaceful development.

基地のない平和な都市 —— 一日も早い基地の返還と市民のための跡地利用

市街地のど真ん中にある普天間飛行場の危険性は、一日も早く除去しなければならず、固定化は絶対にあってはなりません。本市は、沖縄県や関係機関と連携し、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還とそれまでの間の危険性の除去および基地負担軽減の実現を日米両政府に対し強く求めています。また、普天間飛行場及びキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区の跡地利用については各種調査等を進め、未来を担う子どもたちにとって夢のあるまちづくりに向け、地権者及び市民と一体となって取り組みを行っています。



平和・国際交流 —— 未来に向けた平和行政

戦後60年以上が経過し、戦争体験者の減少によって戦争の風化が危惧されること、また、世界の恒久平和を希求する視点から市民、特に戦争を知らない時代を担う若い世代に対して、戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の尊さを伝えるため、被爆地・長崎への平和学習派遣や慰霊の日事業などを実施し、平和で豊かな社会づくりに向け取り組んでいます。

交流することでさらなる発展を

グローバル社会に見合った国際交流のため、友好合作都市である「厦門(アモイ)市」への留学生派遣等の友好都市交流、学校教育現場における小学校英語特区事業や中学校短期海外留学生派遣事業などを継続実施し、さらに南米を主とする市出身海外移住者の子弟を対象とした海外研修生の受入事業を展開することにより、国際交流の更なる発展・拡大に努めています。



宜野湾市のシンボル

【市の木】リュウキュウコクタン

樹皮は平滑で黒褐色、小枝灰褐色で一年枝には多少絹毛があり葉はかたい。家庭樹、道路緑化樹、公園樹、盆栽、また昔から三味線のさおとして重宝がられている。(平成8年1月11日制定)

【市の花木】サンダンカ

花もち長く、年2〜3回開花し彩りもあざやかで、亜熱帯的花木である。繁殖、苗の確保も容易であり、庭園、鉢植え、公園花木としても用途が広い。(昭和50年12月9日制定)

【市の花】キク

年中栽培ができ、花もちが長く多色。苗の確保、栽培管理及び繁殖が容易である。(昭和50年12月9日制定)



健康都市宣言(昭和39年7月1日)

宜野湾市は全市民が明るく、美しく、豊かな環境の中で身心ともに健やかな合理的生活がいとよめる健康都市建設に市民の総力を結集し、その推進をはかるため、宜野湾市を健康都市とすることを宣言する。

健康都市建設市民の誓い

わたしたち宜野湾市民は、健康都市宣言の本旨を高揚し明るく、美しく、豊かな住みよい健康都市を建設するために、次の事項の実現に努力することを誓います。

- 丈夫な体に育てましょう。 ○りっぱな市民になりましょう。 ○交通道徳を高めましょう。
- 暮らしの向上をはかりましょう。 ○明るく美しいまちにしましょう。

宜野湾市反核、軍縮を求める平和都市宣言(昭和60年3月18日)

我々宜野湾市民は、第二次大戦の悲痛な教訓を生かし、反核、軍縮を求める平和都市として次のとおり宣言する。

- 我が国は、非核三原則を国是としており、今後ともその基本理念である反核を全国民が連帯して推進しなければならない。
- 宜野湾市民は、宜野湾市を永久に反核、軍縮を求める平和都市とすることを決意し、人類の滅亡につながる核兵器の廃絶と軍備の縮小を核保有国に強く求める。
- 我が宜野湾市民は、子孫の繁栄を願い、世界平和を希求する諸国民と連帯して米ソ両国に反核、軍縮を強く求め、恒久平和を築くため、全力を尽くすことを誓う。

共に輝く「ねたて」の都市・ぎのわん男女共同参画都市宣言(平成22年1月30日)

1. わたしたちは、お互いの個性を尊重し、すべての人が一人の人間として大切にされる“じのーん”を築きます。
1. わたしたちは、性別による固定的な役割や慣習にとらわれず、仕事や地域活動、家事、育児、介護の責任を分かち合う、思いやりのある“じのーん”をめざします。
1. わたしたちは、誰でも政治、経済、文化、教育など、社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、共に輝く“じのーん”をめざします。
1. わたしたちは、性と生殖に関する理解を高め、多様な性を尊重しつつ、健康な生活が保障される、安心な“じのーん”を創ります。
1. わたしたちは、過去の悲惨な戦争と軍事基地の脅威という歴史的経験から学んだ平和の尊さを忘れず、恒久平和の発信者としてすべての暴力を否定し、未来へつなぐ地球環境づくりをすすめ、安全な“じのーん”を築きます。

宜野湾市の歌

作詞 野田猛良
作曲 田場盛徳

一 嘉数高台 空晴れて

のぼる朝日に はつらつと
希望のひかり 照りはえる
ああ躍進の 若きまち
わが宜野湾に しあわせを
みんなでできそう きずくの

二 権現さまも あらたかに

朝夕よせる 人の波
のびる産業 建設に
見よ勤労の若きまち
わが宜野湾の 繁栄を
みんなで招こう 招くの

三 歴史はひかる 黄金宮

豊かに文化 花咲きて
明るい自治と 人の和に
ああひらけゆく 若きまち
わが宜野湾の 栄光を
みんなでうたおう こたえよう



宜野湾小唄

宮城玲子 作詞
普久原恒勇 作曲
前田俊明 編曲

一 お宮の桜は 真盛り

その名もゆかし 普天間は
光のどかに 満ちあふれ
行き交う顔の 穏やかさ

二 水に清きに 誘われて

森川園に 来て見れば
羽衣ゆかりの 乙女らが
踊る姿の麗しさ

三 あかね雲の はゆる時

嘉数の丘に たたずめば
眺めはるかに 広がって
風さわやかに 咲き渡る

四 みるく世招く 嘉利吉の

歌声さらに 高まりて
実り豊かな 宜野湾は
松の緑も 永久に

宜野湾音頭

坂口洋隆 作詞
普久原恒勇 作曲
前田俊明 編曲

一 わした宜野湾 眺めの美らさ

東支那海 珊瑚の花よ
波が春呼ぶ 夢を呼ぶ
(はやし) ユイヤナー ユイヤナー
サー ユイヤ ユイヤ サッサ
アネ宜野湾音頭

二 わした宜野湾 権現様に

願いかけましょ 二人の恋を
結ぶおみくじ 吉と出る
(はやし) ユイヤナー ユイヤナー
サー ユイヤ ユイヤ サッサ
アネ宜野湾音頭

三 わした宜野湾 昔をしのぶ

天の羽衣 伝説秘めた
ここはゆかりの 森の川
(はやし) ユイヤナー ユイヤナー
サー ユイヤ ユイヤ サッサ
アネ宜野湾音頭

四 わした宜野湾 南へ北へ

走る国道 虹の架け橋
嘉利吉世界報 宜野湾市
(はやし) ユイヤナー ユイヤナー
サー ユイヤ ユイヤ サッサ
アネ宜野湾音頭



統計資料編

GINOWAN CITY DATA BOOK

I N D E X

統計にみる市民の暮らし……21

位置・面積……………22

人 口……………23

産 業……………26

財 政……………27

歴代首長・議長……………28

宜野湾市の歩み……………30



宜野湾市の沿革

位 置

本市は、沖縄県本島中南部の東シナ海に面し、北には北谷町、東には中城村、北東には北中城村、南東には西原町、南に浦添市と面しています。

那覇市より北に12km、沖縄市より南に6kmの地点にあり、市内をドーナツ状に国道58号、国道330号、県道宜野湾北中城線、剣道34号が通り、さらに沖縄自動車道の北中城インターチェンジ、西原インターチェンジへもつながりが容易な沖縄本島の中部及び北部を結ぶ交通上の重要な地点に位置しています。

面 積 19.70平方キロメートル(平成25年10月1日現在)

人口密度 1平方キロメートルあたり4,869人(平成25年12月末現在)

世 帯 数 40,603世帯(平成25年12月末現在)

人 口 95,913人(平成25年12月末現在)

歴 史

本市の母体である宜野湾間切は、1671年(寛文11年)に浦添間切から我如古、宜野湾、神山、嘉数、大山、大謝名、宇地泊、喜友名、新城、伊佐、の10カ村を割き、中城間切から野嵩、普天間、そして北谷間切から安仁屋をそれぞれ割き、真志喜を新設し、14カ村をもって設立されました。

1879年(明治12年)廃藩置県後、沖縄県庁の支庁として中頭郡役所が普天間に新設され、続いて中頭教育事務所、県立農業試験場等の官公署が設立されるなどの本島中部の政治、経済、教育の中心地として活気を呈していました。

第二次世界大戦においては、本市も壊滅的な戦災を被りましたが、野嵩地区が消失を免れて、以南の戦闘地域の住民の収容所となり、他の市町村に先んじて戦後処理作業が行われました。その後、市域の主要な部分が米軍基地として接收され、基地の街としての性格を強めました。同時に普天間を中心に都市化が進展し、1962年(昭和37年)7月1日に市制が施行され、新生「宜野湾市」が誕生しました。現在、米軍基地が中央部に位置するため、市街地は国、県道沿いにドーナツ状に発展し、特異な形状を示しています。近年、那覇市の外延的な拡大に伴い、市街地化が進展しつつあります。更に沖縄国際大学が立地し、沖縄コンベンションセンターが整備されるなど、県内の高次都市機能の一部を担う重要な地域となりつつあります。

統計にみる市民の暮らし

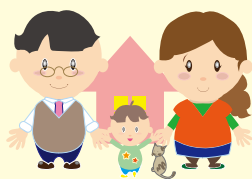
平成25年の状況

人口密度



1Km²あたり4,869人

世帯人員



1世帯に2.4人

出 産



1日に3.5人

死 亡



1日に1.5人

結 婚



1日に2.0組

離 婚



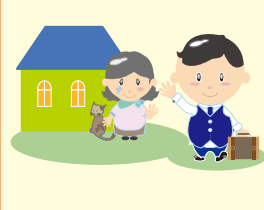
1日に0.7組

転 入



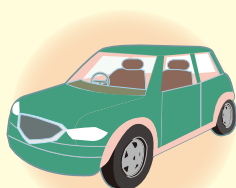
1日に15.1人

転 出



1日に15.5人

自動車



1世帯に1.6台

警察官



市民705人に1人

交通事故



1日に1.3件

消防職員



市民1,199人に1人

火 災



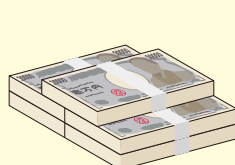
8.5日に1件

救急車出動



1日に11.0件

市 税



市民1人当たり110,690円

水 道



1日1人当たり297ℓ

市職員



市民138人に1人

市の予算(一般会計)



市民1人当たり405,476円

し尿収集量



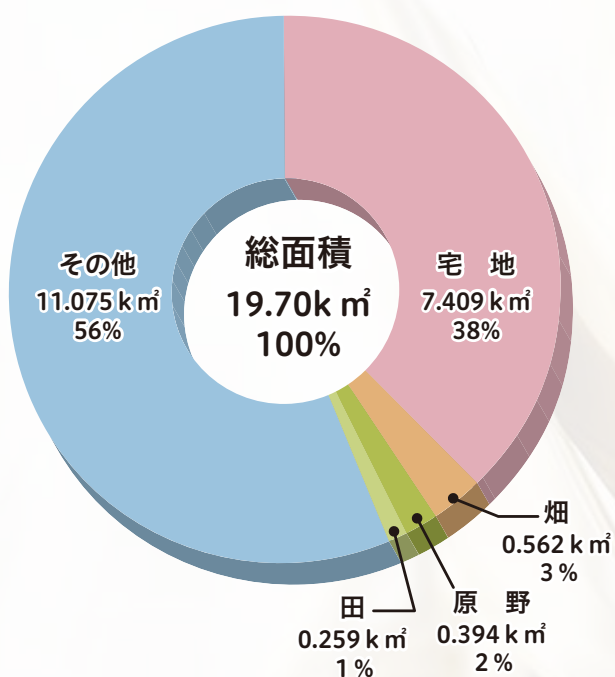
1日に12.0キロℓ

ごみ排出量



1日1人当たり754.4g

平成25年地目別面積



位置

最東端	東 経 127° 47' 21"
最西端	東 経 127° 43' 46"
最南端	北 緯 26° 14' 45"
最北端	北 緯 26° 17' 38"
総面積	19.70k m ² (平成25年10月1日現在)



地目別面積の推移

各年1月1日現在 (単位: m²)

年次 区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総数	19,700,000	19,700,000	19,700,000	19,700,000	19,700,000
宅地	7,406,038	7,467,024	7,458,477	7,374,135	7,409,058
田	280,514	270,959	270,054	264,462	259,110
畑	752,128	714,426	694,303	572,492	562,478
原野	342,961	350,754	348,271	405,395	394,259
その他	10,918,359	10,896,837	10,928,895	11,083,516	11,075,095

人口の推移

各年 12 月末現在

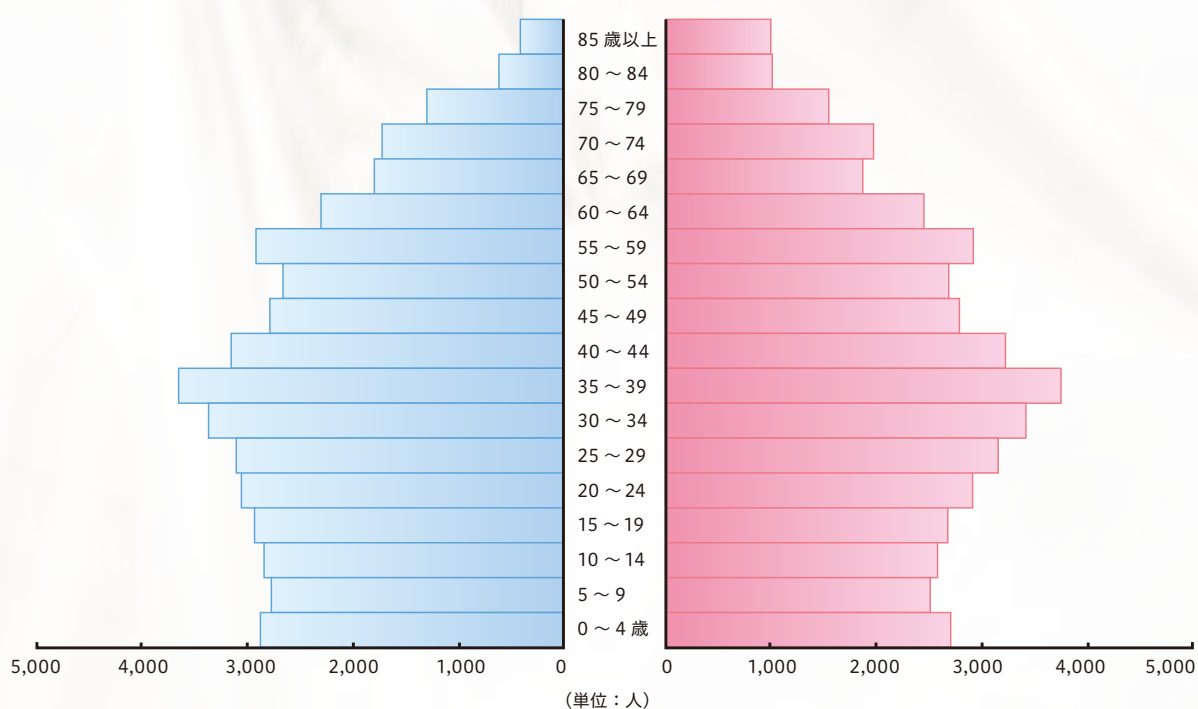
年次	人 口 総 数	自 然 動 態			社 会 動 態			人 口 増 減
		出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減	
平成 21 年	93,157	1,287	489	798	5,600	5,511	89	887
平成 22 年	93,409	1,280	476	804	5,234	5,786	△ 552	252
平成 23 年	94,608	1,314	555	759	5,599	5,159	440	1,199
平成 24 年	95,321	1,294	603	691	5,502	5,480	22	713
平成 25 年	95,913	1,288	555	733	5,501	5,642	△ 141	592

外国人住民人口の推移

各年 12 月末現在

年 次	総数	米国	中国	フィリ ピン	英国	韓国 朝鮮	ブラ ジル	インド	タイ	ベル ギー	ペルー	アルゼ ンチン	無国籍	その他
平成21年	1,049	251	211	274	18	67	29	8	6	3	20	12	—	150
平成22年	939	232	192	265	15	62	27	6	6	3	9	11	—	111
平成23年	947	235	190	270	14	72	28	8	7	3	10	5	—	105
平成24年	916	242	156	253	12	71	34	7	5	3	8	3	—	122
平成25年	922	236	149	254	13	64	31	7	5	3	8	6	1	145

年齢・男女別人口(平成22年国勢調査)



男性総数 44,720人

人口総数 91,928人

女性総数 47,208人

行政区別人口の推移

各年 12 月末現在

行政区別	年別	平成 24 年				平成 25 年			
		総 数	男	女	世帯数	総 数	男	女	世帯数
総 数		95,321	46,397	48,924	40,127	95,913	46,734	49,179	40,603
野 嵩 1 区		5,837	2,872	2,965	2,269	5,851	2,890	2,961	2,298
野 嵩 2 区		903	437	466	386	865	422	443	378
野 嵩 3 区		1,385	708	677	610	1,359	687	672	607
普 天 間 1 区		1,255	588	667	560	1,231	575	656	556
普 天 間 2 区		715	351	364	335	694	338	356	325
普 天 間 3 区		2,174	1,051	1,123	964	2,173	1,044	1,129	961
新 城 区		4,294	1,995	2,299	1,845	4,147	1,956	2,191	1,810
喜 友 名 区		3,243	1,575	1,668	1,351	3,244	1,571	1,673	1,370
伊 佐 区		4,038	1,888	2,150	1,769	4,047	1,899	2,148	1,784
大 山 区		7,184	3,428	3,756	3,057	7,166	3,422	3,744	3,055
真 志 喜 区		6,495	3,128	3,367	2,598	6,688	3,222	3,466	2,669
宇 地 泊 区		3,798	1,787	2,011	1,591	4,010	1,900	2,110	1,705
大 謝 名 区		5,557	2,703	2,854	2,349	5,544	2,685	2,859	2,353
嘉 数 区		4,759	2,309	2,450	1,923	4,770	2,326	2,444	1,941
真 栄 原 区		9,002	4,375	4,627	3,704	9,048	4,390	4,658	3,760
我 如 古 区		7,761	3,932	3,829	3,496	7,973	4,047	3,926	3,595
長 田 区		9,191	4,698	4,493	4,058	9,315	4,755	4,560	4,112
宜 野 湾 区		5,818	2,897	2,921	2,570	5,807	2,902	2,905	2,590
愛 知 区		6,463	3,081	3,382	2,462	6,488	3,084	3,404	2,483
中 原 区		5,406	2,587	2,819	2,205	5,453	2,613	2,840	2,227
基 地 内		43	7	36	25	40	6	34	24

行政区域図



都市公園一覧表

施設名	所在地	敷地面積	開設年月日
伊佐児童公園	伊佐3-12-2	3,533 m ²	昭和51年11月12日
きさらぎ児童公園	野嵩1-43	3442 m ²	昭和54年3月17日
ガジュマル児童公園	宇地泊471	2,800 m ²	昭和57年9月16日
まつのおか児童公園	野嵩1-6-1	3,242 m ²	昭和57年10月19日
伊佐第二児童公園	伊佐2-21-2	5,000 m ²	昭和58年4月11日
あらしろ児童公園	新城2-5-1	866 m ²	昭和59年7月2日
ながつき児童公園	新城1-1-16	453 m ²	昭和59年7月2日
嘉数高台公園	嘉数1-5	33,734 m ²	昭和59年7月2日
ゆうひ児童公園	宇地泊598	2,021 m ²	昭和59年7月2日
あすなろ児童公園	野嵩1-12-1	3,240 m ²	昭和59年7月2日
森川公園	真志喜1-24-1	41,722 m ²	昭和60年6月1日
いすのき児童公園	真志喜2-4-1	2,000 m ²	昭和61年9月1日
シーサー児童公園	大山6-44-8	1,599 m ²	昭和61年9月1日
宜野湾海浜公園	真志喜4-2-1	158,000 m ²	昭和62年10月1日
ながた児童公園	長田3-27	3,194 m ²	昭和63年4月24日
ましき児童公園	真志喜3-12-1	3,317 m ²	平成元年7月1日
わかたけ児童公園	真志喜2-10-1	3,869 m ²	平成元年7月1日
ゆうな児童公園	真志喜3-23-1	2,413 m ²	平成2年7月1日
あだん児童公園	大山6-26-1	2,490 m ²	平成2年7月1日
がねこ児童公園	我如古4-15-40	1,212 m ²	平成2年7月1日
うえはら児童公園	上原1-22-8	2,500 m ²	平成2年7月1日
佐真下公園	真栄原3-38	6,700 m ²	平成3年4月1日
まえはら児童公園	真栄原1-15-18	1,737 m ²	平成4年4月25日
ひがし児童公園	野嵩4-23-17	835 m ²	平成4年4月25日
あかみち公園	赤道1-5-14	2,079 m ²	平成6年4月20日
ふてんま公園	普天間1-22-22	2,892 m ²	平成6年4月27日
まつぼっくり公園	愛知2丁目73-1	6,000 m ²	平成8年4月18日
のだけ公園	野嵩3-15-45	11,640 m ²	平成8年4月25日
おおぶき公園	真栄原3-24-8	1,400 m ²	平成9年4月18日
ぐんばる公園	真栄原3-11-1	2,000 m ²	平成13年4月27日
ちゅんなー公園	喜友名1-29-1	1,794 m ²	平成15年5月1日
しまし公園	志真志3-16-3	1,600 m ²	平成16年4月27日
いこいの市民パーク	神山無手原2-1	46,981 m ²	平成18年3月9日
比屋良川公園	嘉数4-824-1	12,237 m ²	平成19年3月20日
かたばる公園	宇地泊潟原751-11	2,650 m ²	平成22年3月30日
青空公園	嘉数4-617-2	564 m ²	平成22年12月21日

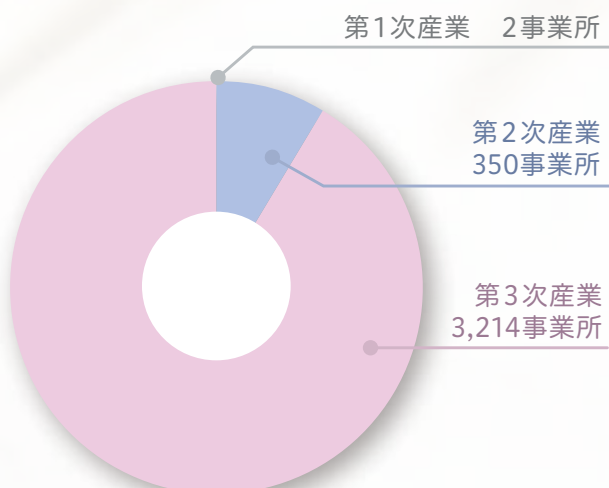


産業(大分類)別事業所数及び従業者数(民営)

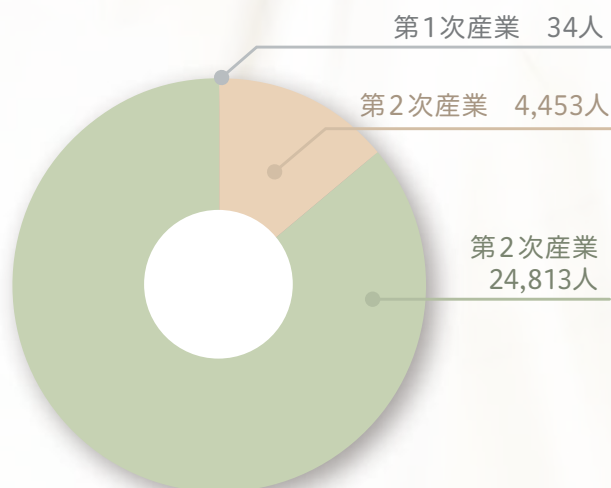
産業(大分類)	年次・区分	平成 21 年		平成 24 年	
		事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総	数	3,928	29,130	3,566	29,300
第 1 次 産 業		—	—	2	34
農 業 , 林 業		—	—	1	31
漁 業		—	—	1	3
第 2 次 産 業		359	4,365	350	4,453
鉱 業 , 採 石 業 , 砂 利 採 取 業		1	23	2	28
建 設 業		259	2,923	242	2,927
製 造 業		99	1,419	106	1,498
第 3 次 産 業		3,569	24,765	3,214	24,813
情 報 通 信 業		65	661	53	1,132
運 輸 業 , 郵 便 業		56	1,208	53	1,235
卸 売 ・ 小 売 業		1,048	7,329	943	7,102
金 融 ・ 保 険 業		50	504	41	408
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業		460	1,073	352	1,124
学術研究, 専門・技術サービス業		167	905	154	920
飲 食 店 , 宿 泊 業		695	3,886	592	3,717
生活関連サービス業, 娯楽業		363	1,494	342	1,561
医 療 , 福 祉		225	3,322	255	3,791
教 育 , 学 習 支 援 業		199	1,588	202	1,654
サービス業(他に分類されないもの)		222	2,625	208	1,986
複 合 サ ー ビ ス 事 業		19	170	19	183

資料：平成 21 年経済センサス－基礎調査、平成 24 年経済センサス－活動調査

●事業所総数:3,566事業所



●従業者総数:29,300事業所

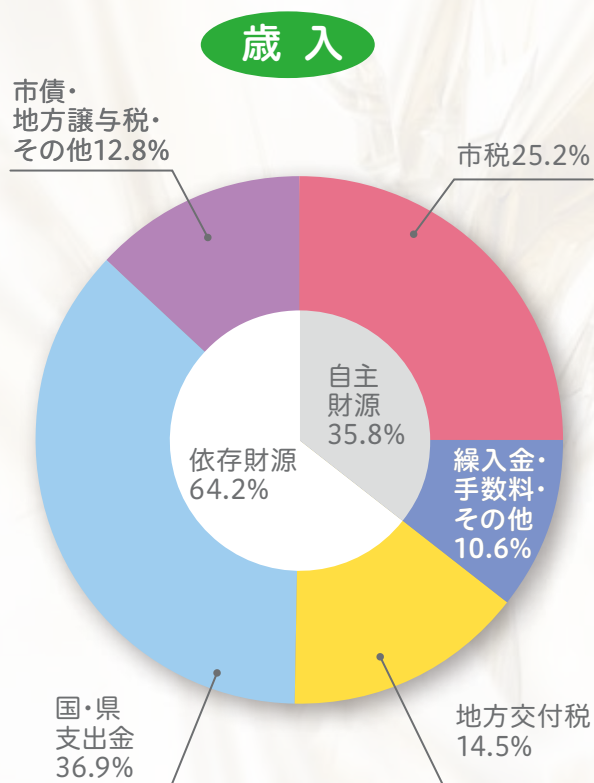


宜野湾市の予算(平成25年度)

宜野湾市の自主財源の基本となる市税については、景気、雇用状況に影響を受けることから、今後、経済情勢等に注視し、税収の確保及び徴収率の向上に努める必要があります。また、依存財源である交付税等については国の基本方針に基づき、減額も予測されることから引き続き、「第五次宜野湾市行財政改革大綱」の趣旨を踏まえ、事務事業の見直しを積極的に進め、「自主財源の確保」と「歳出の抑制」をさらに推し進めていくことを目標に平成25年度予算を編成しています。

一般会計当初予算額 370 億円

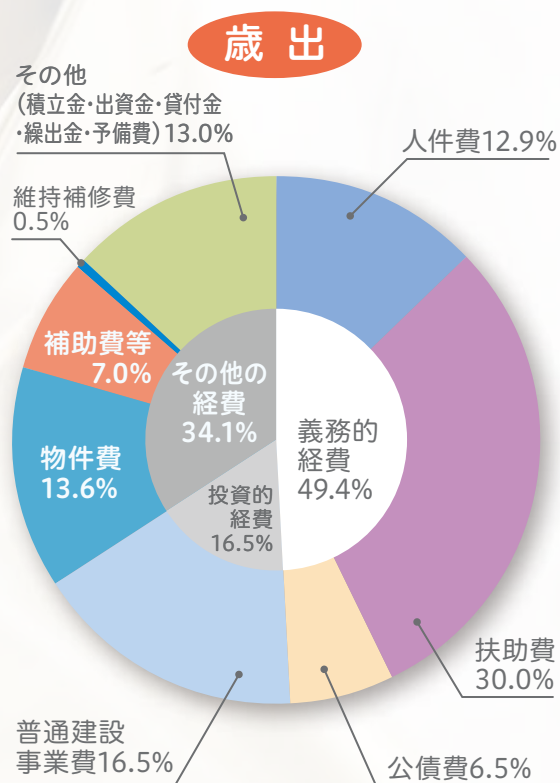
(対前年比34億6,000万円、10.3%増)



歳入(市の収入)

地方交付税や国・県支出金等の依存財源が歳入の大半を占めています(64.2%)。しかし、地方交付税の縮減・見直しなどもあり、自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

市税	9,325,515 千円
緑入金等	3,927,342 千円
地方交付税	5,378,353 千円
国・県支出金	13,632,806 千円
市債等	4,735,984 千円



歳出(市の支出)

義務的経費が、大半を占めており(49.4%)、その中でも扶助費はここ数年伸び続けています。引き続き、歳出全般について節減努力を行っていきます。

人件費	4,788,755 千円
扶助費	11,100,120 千円
公債費	2,393,070 千円
普通建設事業費	6,082,918 千円
物件費	5,049,960 千円
補助費等	2,602,939 千円
維持補修費	176,394 千円
その他	4,805,844 千円

歴代村長・市長

職 名	歴 代	氏 名	就任・退任年月日
間切長		比嘉 盛助	明治30. 3. 1～明治36. 7. 2
〃		石川 眞苺	明治36. 7. 3～明治38. 9. 10
〃		桃原 正裕	昭和38. 9. 11～昭和42. 3. 31
村長	初代	〃	明治42. 4. 1～
〃	2	〃	～大正 5. 9. 30
〃	3	山城 五郎	大正 5. 10. 1～
〃	4	〃	—
〃	5	〃	—
〃	6	〃	～昭和 4. 4. 30
〃	7	宮城 武真	昭和 4. 5. 1～昭和 6. 1. 31
〃	8	島袋 盛春	昭和 6. 2. 1～昭和 7. 3. 10
〃	9	高江洲 英吉	昭和 7. 3. 11～昭和10. 2. 20
〃	10	天久 流水	昭和10. 2. 21～昭和14. 2. 20
〃	11	仲村渠 春壽	昭和14. 2. 21～
〃	12	〃	～昭和20. 5. 8
〃	13	久保田 盛春 (旧姓 島袋)	昭和21. 5. 1～昭和22. 3. 11
〃	14	桃原 亀郎	昭和22. 3. 12～昭和23. 2. 29
〃	15	〃	昭和23. 3. 1～昭和25. 9. 17

職 名	歴 代	氏 名	就任・退任年月日
村長	16	知 念 清 一	昭和25. 9. 18～昭和28. 9. 17
〃	17	〃	昭和28. 9. 18～昭和33. 9. 17
〃	18	仲 村 春 勝	昭和33. 9. 18～昭和37. 6. 30
市長	初代	〃	昭和37. 7. 1～昭和37. 9. 17
〃	2	〃	昭和37. 9. 18～昭和40. 6. 26
〃	3	島 袋 全 一	昭和40. 8. 16～昭和44. 8. 12
〃	4	崎間 健一郎	昭和44. 8. 13～昭和48. 8. 12
〃	5	米 須 清 與	昭和48. 8. 13～昭和52. 8. 12
〃	6	安次富 盛信	昭和52. 8. 13～昭和56. 8. 12
〃	7	〃	昭和56. 8. 13～昭和60. 8. 12
〃	8	桃 原 正 賢	昭和60. 8. 13～平成元. 8. 12
〃	9	〃	平成元. 8. 13～平成 5. 8. 12
〃	10	〃	平成 5. 8. 13～平成 9. 8. 12
〃	11	比 嘉 盛 光	平成 9. 8. 13～平成13. 8. 12
〃	12	〃	平成13. 8. 13～平成15. 3. 6
〃	13	伊 波 洋 一	平成15. 4. 27～平成19. 4. 26
〃	14	〃	平成19. 4. 27～平成22. 10. 18
〃	15	安 里 猛	平成22. 11. 28～平成23. 12. 28
〃	16	佐 喜 眞 淳	平成24. 2. 12～現在

歴代議長

代	氏 名	就任・退任年月日
初代	伊 佐 眞 人	昭和23. 9. 24～昭和25. 9. 24
2	仲 村 春 勝	昭和25. 10. 11～昭和28. 4. 24
3	知 念 俊 吉	昭和28. 4. 25～昭和29. 9. 27
4	桃 原 正 賢	昭和29. 10. 5～昭和33. 9. 27
5	〃	昭和33. 10. 6～昭和35. 10. 24
6	崎間 健一郎	昭和35. 12. 28～昭和37. 9. 27
7	古波蔵 清次郎	昭和37. 9. 28～昭和41. 9. 27
8	〃	昭和41. 9. 28～昭和45. 9. 27
9	〃	昭和45. 9. 28～昭和49. 9. 27
10	武 島 行 男	昭和49. 9. 30～昭和53. 9. 27

代	氏 名	就任・退任年月日
11	又 吉 正 弘	昭和53. 9. 28～昭和57. 9. 27
12	石 川 仁 一	昭和57. 9. 30～昭和61. 9. 27
13	〃	昭和61. 9. 30～昭和63. 12. 26
14	伊 佐 吉 秀	昭和63. 12. 26～平成 2. 9. 27
15	仲 村 春 信	平成 2. 9. 28～平成 6. 9. 27
16	伊 佐 雅 仁	平成 6. 9. 28～平成10. 9. 27
17	佐 喜 眞 博	平成10. 9. 28～平成11. 3. 29
18	天 久 嘉 栄	平成11. 5. 18～平成14. 9. 27
19	伊 佐 敏 男	平成14. 10. 1～平成18. 9. 27
20	伊 波 廣 助	平成18. 9. 28～平成22. 9. 27
21	呉 屋 勉	平成22. 9. 28～現在

市内の公共施設

《行政機関》

市役所	野嵩 1 - 1 - 1	8 9 3 - 4 4 1 1
消防本部	字野嵩 6 7 7	8 9 2 - 1 1 9 9
消防署 我如古出張所	我如古 3 - 2 - 1	8 9 7 - 1 2 1 0
消防署 真志喜出張所	真志喜 3 - 2 5 - 3	8 9 0 - 4 3 9 9
教育委員会	字野嵩 7 3 0	8 9 2 - 8 2 8 0
水道局	字野嵩 7 3 0	8 9 2 - 3 3 5 1

《教育・文化施設》

市民図書館	我如古 3 - 4 - 1 0	8 9 7 - 4 6 4 6
市立博物館	真志喜 1 - 2 5 - 1	8 7 0 - 9 3 1 7
市民会館	野嵩 1 - 1 - 2	8 9 3 - 4 4 3 3
中央公民館	野嵩 1 - 1 - 2	8 9 3 - 4 4 3 6
はごろも学習センター	赤道 1 - 5 - 1 7	8 9 3 - 6 0 7 7

《幼稚園》

普天間幼稚園	普天間 1 - 1 0 - 1	8 9 2 - 2 6 6 5
普天間第二幼稚園	新城 2 - 8 - 1 9	8 9 2 - 4 4 3 0
大山幼稚園	大山 5 - 1 6 - 1	8 9 7 - 6 1 9 3
大謝名幼稚園	大謝名 5 - 1 2 - 1	8 9 7 - 4 1 5 4
嘉数幼稚園	真栄原 1 - 1 3 - 1	8 9 8 - 6 2 4 3
志真志幼稚園	宜野湾 3 - 5 - 1	8 9 2 - 1 5 0 1
宜野湾幼稚園	神山 1 - 1 - 1	8 9 2 - 5 2 6 3
長田幼稚園	長田 3 - 1 9 - 1	8 9 2 - 2 4 1 1

《小学校》

普天間小学校	普天間 1 - 1 0 - 1	8 9 2 - 3 3 5 9
普天間第二小学校	新城 2 - 8 - 1 9	8 9 2 - 2 4 2 4
大山小学校	大山 5 - 1 6 - 1	8 9 7 - 2 1 7 4
大謝名小学校	大謝名 5 - 1 2 - 1	8 9 7 - 2 1 0 0
嘉数小学校	真栄原 1 - 1 3 - 1	8 9 8 - 2 6 3 0
志真志小学校	宜野湾 3 - 5 - 1	8 9 2 - 1 5 0 2
宜野湾小学校	神山 1 - 1 - 1	8 9 2 - 3 0 0 6
長田小学校	長田 3 - 1 9 - 1	8 9 2 - 1 1 7 7

《中学校》

普天間中学校	新城 2 - 4 1 - 1	8 9 2 - 3 3 2 8
真志喜中学校	真志喜 3 - 1 9 - 1	8 9 7 - 3 6 5 1
嘉数中学校	字我如古 4 2 3	8 9 8 - 2 6 4 2
宜野湾中学校	赤道 1 - 1 5 - 1	8 9 3 - 1 3 9 7

《給食センター》

普天間第二給食センター	新城 2 - 4 1 - 2 7	8 9 2 - 5 3 5 0
宜野湾学校給食センター	志真志 3 - 1 6 - 1	8 9 8 - 4 5 4 1
真志喜学校給食センター	真志喜 3 - 1 9 - 2	8 9 7 - 1 1 2 9
大山学校給食センター	大山 5 - 1 6 - 1	8 9 7 - 3 4 7 7

《保育所》

野嵩保育所	野嵩 2 - 2 2 - 1 2	8 9 2 - 2 2 6 1
うなばら保育所	大山 3 - 3 0 - 1	8 9 8 - 6 3 3 7
宜野湾保育所	宜野湾 3 - 1 3 - 1 0	8 9 2 - 5 3 6 5

《児童センター》

赤道児童センター	赤道 1 - 5 - 1 6	8 9 2 - 3 3 9 7
新城児童センター	新城 2 - 4 - 1 1	8 9 2 - 8 8 8 8
大山児童センター	大山 4 - 1 4 - 3	8 9 0 - 0 0 1 5
大謝名児童センター	大謝名 5 - 2 5 - 2	8 9 7 - 4 1 1 7
我如古児童センター	我如古 2 - 5 - 1	8 9 7 - 6 7 6 7

《体育施設・その他》

市立グラウンド	真志喜 3 - 2 5 - 1	8 9 7 - 0 9 0 9
市立野球場	真志喜 4 - 2 - 1	8 9 7 - 2 7 5 1
市立体育館	真志喜 4 - 2 - 1	8 9 7 - 2 7 5 1
宜野湾トロピカルビーチ	真志喜 4 - 2 - 1	8 9 8 - 1 6 6 1
勤労青少年ホーム	伊佐 4 - 7 - 1 4	8 9 8 - 4 7 0 0
人材育成交流センターめぶき	志真志 1 - 1 5 - 2 2	8 9 6 - 1 2 1 5
宜野湾ベイサイド情報センター	字宇地泊 5 5 8 - 1 8	9 4 2 - 8 4 1 5
シルバー人材育成センター	新城 2 - 4 - 1 1	8 9 3 - 6 8 2 8

《社会福祉関係》

保健相談センター	真栄原 1 - 1 3 - 1 5	8 9 8 - 5 5 8 3
福寿園	赤道 2 - 7 - 2	8 9 2 - 1 3 3 3
老人福祉センター	赤道 1 - 5 - 1 7	8 9 3 - 6 4 0 0

宜野湾市の歩み

年	月	経 過	年	月	経 過
1962年(昭和37年)	7月	1日付で村を廃し市政を施行、宜野湾市となる	1980年(昭和55年)	3月	新庁舎落成記念式典
1963年(昭和38年)	3月	消防庁舎落成		4月	コンピューター自主導入で業務稼働
1964年(昭和39年)	1月	行政区再編が行われ、20区の新行政区が誕生		10月	真志喜給食センター落成
	7月	健康都市宣言			米軍OV10ブロンコ機基地内へ墜落
	11月	嘉数展望台完成(高さ9m、直径12m)		12月	市内一周バス運行開始
1965年(昭和40年)	4月	中部商業高等学校開校	1981年(昭和56年)	4月	県立宜野湾高等学校開校
		宜野湾、中城、北中城三市村合併促進協議会発足		7月	市立グラウンド完成
	7月	第二地区区画整理事業着手(普天間・新城)		11月	市立郷土資料館開館
1966年(昭和41年)	4月	市立野嵩保育所落成	1982年(昭和57年)	4月	志真志小学校・幼稚園開校
1967年(昭和42年)	1月	西海岸公有水面埋め立て認可		7月	市制施行20周年
	4月	森の川史跡として重要文化財指定	1983年(昭和58年)	1月	市制施行20周年式典及び市民会館落成式
	6月	市立大山保育所落成			大謝名児童センター落成
	7月	市制施行5周年、市章、市歌決定			西海岸埋め立て起工式
1968年(昭和43年)	1月	伊佐地先公有水面埋め立て(第一工区一部竣工)	1984年(昭和59年)	2月	市文化協会設立
1969年(昭和44年)	4月	普天間第二小学校開校			市保健相談センター落成
	6月	宜野湾学校給食共同調理場落成		9月	野嵩1区豊年祭り36年ぶりに復活
	10月	宜野湾市・コザ市・北谷村三市村焼却炉設置			宜野湾港起工式
1971年(昭和46年)	10月	三市村合併流れる		10月	中央公民館起工式
1972年(昭和47年)	2月	伊佐公有水面埋め立て着工		11月	上原土地区画整理事業起工式
	4月	沖縄国際大学開校		12月	西海岸埋め立て竣工祝賀式典
	5月	日本国復帰	1985年(昭和60年)	3月	平和都市宣言
	7月	市制施行10周年		4月	東郷町との姉妹都市提携調印
1973年(昭和48年)	4月	社会福祉事務所開所	1986年(昭和61年)	1月	水道・消防庁舎落成
	5月	復帰記念若夏国体開催		4月	宜野湾中学校開校
	6月	市商工会発足		6月	市立体育館落成(記念事業に全日本対キューバの パレーボール試合が行われた)
	7月	市立宜野湾保育所落成		9月	54年ぶりに新城郷友会組踊り復活
	9月	野嵩地区区画整理事業着手	1987年(昭和62年)	1月	野球大洋球団キャンプ地誘致
1974年(昭和49年)	8月	市土地開発公社設立		3月	市立野球場落成
1975年(昭和50年)	4月	普天間第二給食センター落成		5月	パイプライン撤去で関係省庁へ要請
	12月	市花、市木、市花木決定		7月	市制施行25周年
1976年(昭和51年)	4月	大謝名小学校開校			夏季国体ヨット競技会場(宜野湾マリーナ)落成
		三市村一部事務組合による清掃工場落成		8月	海邦国体夏季大会(ヨット競技)
		我如古ヒージャガー、市文化財指定第1号		9月	沖縄コンベンションセンター落成
	9月	大謝名獅子舞、33年ぶりに復活		10月	海邦国体秋季大会(バスケットボール、高校野 球、アーチェリー競技)
1977年(昭和52年)	3月	総合計画基本構想決まる	1988年(昭和63年)	3月	屋内多目的運動場落成
		し尿処理(宜野湾清水苑)落成			中国廈門市視察団来訪
		軍用地(通信隊、飛行場の一部)返還		4月	デイ・サービスセンター(福寿園)落成
	5月	市役所移転先決定		4月	ながた児童公園開園
	6月	特別養護老人ホーム(福寿園)落成		7月	三菱、ヤクルト企業誘致調印式
	7月	市制施行15周年	1989年(平成元年)	4月	(財)市公共施設管理公社設立
1978年(昭和53年)	2月	「嘉数高台」沖縄観光名所に決定			うなばら保育所落成
	3月	市消防本部我如古出張所落成		6月	市老人福祉センター落成
		社会福祉センター落成		11月	印鑑登録電算システム開始
	5月	勤労青少年ホーム落成	1990年(平成2年)	2月	愛誠園デイ・サービスセンター落成
	11月	勤労者体育センター落成		3月	野嵩保育所落成
		コンピューター自主導入決定			赤道児童センター落成
1979年(昭和54年)	2月	市史編集委員会スタート		4月	シルバー人材センター開所
		育英会8年ぶりに復活			市立教育研究所開所
	4月	真志喜中学校開校		8月	沖縄コンベンションセンター劇場棟落成
		市人口6万人突破		10月	普天間飛行場跡地利用市民フォーラム開催
	11月	宜野湾署がキャンプマーシー跡に移転			真志喜中学校全国マーチングコンクールで優勝
	12月	新庁舎落成		12月	宜野湾特産「泡盛はごろも」発表
			1991年(平成3年)	3月	POL跡地買い上げ問題解決、市道整備スタート
					海浜公園屋外劇場落成
					佐真下公園完成
				4月	中部広域加入(南部広域退会)
				9月	土曜閉庁方式による4週6休制スタート

年	月	経 過
1991年(平成3年)	10月	普天間基地跡地利用シンポジウム開催 (宜野湾青年会議所主催)
	11月	宜野湾市民図書館オープン
1992年(平成4年)	2月	普天間飛行場跡地利用成年フォーラム開催
	5月	嘉数高台公園展望台落成式
	7月	市在宅介護支援センター開所式
	10月	ラグナガーデンホテルオープン
1993年(平成5年)	4月	米軍ヘリ墜落事故 ヘリ墜落に抗議する緊急市民大会
	6月	国民年金電算新システム開始式
	6月	大山児童センター落成
1994年(平成6年)	4月	ぎのわんトロピカルビーチオープン
	4月	福祉システム電算導入稼働式
	6月	歓海門開門式
1995年(平成7年)	6月	トロピカルビーチへ重油流入 ひまわり共同作業所開所式
	11月	8万人目市民達成記念セレモニー
	3月	中国廈門市青年宮舞踊団公演
	3月	普天間飛行場跡地利用基本構想策定
	4月	市水道局看板揭示式(水道部から水道局へ)
	5月	新城児童センター落成
	6月	普天間基地包囲行動
	7月	消防署真志喜出張所落成
	10月	東郷町姉妹都市締結10周年記念碑除幕式
	11月	米兵による少女暴行事件に対する県民総決起大会
1996年(平成8年)	4月	中国廈門市友好都市締結調印
	4月	普天間飛行場跡地を考えるシンポジウム開催
	5月	訪問看護ステーション開所(宜野湾記念病院)
	9月	日米地位協定の見直し、基地整理縮小に対する県民投票の実施
1997年(平成9年)	3月	シルバー人材センターワークプラザ落成記念式典
	4月	財務会計システム稼働
	5月	普天間飛行場跡地利用基本計画答申
1998年(平成10年)	1月	街づくり特別対策プロジェクトチーム設置
	5月	行財政改革大綱答申
1999年(平成11年)	12月	普天間基地包囲行動
	12月	世界エイズデイヤングフェスティバルin宜野湾
	1月	横浜ベイスターズ日本シリーズ優勝凱旋パレード
	3月	地域振興券の交付
	4月	普天間飛行場跡地利用と企業誘致を考える討論会
2000年(平成12年)	4月	市立長田小学校・幼稚園開校
	8月	産業展示館(トロピカルハウス)落成
	3月	市立博物館開館
	3月	国道58号バイパス(伊佐～牧港)供用開始
	4月	「新造佐阿天橋碑」除幕式
	5月	市軍用地跡地開発プロジェクトチーム発足
	7月	国際平和子供サミット・インぎのわん開催
2001年(平成13年)	1月	米軍関連事件・事故に抗議する緊急県民総決起大会
	9月	九州・沖縄サミット開催
2002年(平成14年)	1月	市ホームページ開設(はごろもネット「ぎのわん」稼働)
	6月	市国際交流協会設立
2003年(平成15年)	1月	初の女性模擬議会開催
	3月	移動図書館「ちゅらゆめ号」稼働
	4月	情報公開条例・個人情報保護条例スタート
	7月	市制施行40周年記念式典
	7月	市民図書館で証明書交付
	8月	初の子ども議会が市議会本会議場で開催
	8月	中国廈門市立鷺江大学へ初の留学生派遣
	9月	はごろも学習センター開所
2003年(平成15年)	10月	若者達の意見を市政へ「21世紀まちづくり委員会」発足
	1月	宜野湾・西原・中城三市町村任意合併協議会設置
	4月	人材育成交流センター「めぶき」オープン

年	月	経 過
2003年(平成15年)	7月	戸籍事務コンピューター稼働
	8月	市児童虐待防止ネットワーク会議設置
	9月	「市民のご意見箱」設置
2004年(平成16年)	12月	宜野湾・西原・中城三市町村任意合併協議会解散
	12月	普天間飛行場問題シンポジウム開催
	1月	西海岸都市機能用地への企業誘致決定
	4月	21世紀まちづくり委員会より提案報告書
	4月	普天間飛行場返還アクションプログラム策定
	7月	市民サービス向上月間スタート
	8月	普天間飛行場問題解決促進のため市長訪米
2005年(平成17年)	8月	沖縄国際大学へ米軍大型ヘリ墜落
	9月	市自治会長会からヘリ墜落事故に対する要請
	9月	米軍ヘリ墜落事故に抗議する議員集会
	9月	米軍ヘリ墜落事故抗議市民大会
	4月	I D B 沖縄総会
2006年(平成18年)	4月	行政情報化整備事業スタート
	7月	基地負担軽減要請のため市長訪米
	11月	宜野湾市・廈門市友好合作提携10周年記念式典
	1月	宜野湾市・東郷町姉妹都市提携解消調印式
	2月	普天間飛行場跡地利用基本方針策定
2007年(平成19年)	3月	第三次宜野湾市総合計画策定
	3月	宜野湾市地域福祉計画策定
	4月	いこいの市民パーク子ども広場開園式
	4月	(財)宜野湾市公共施設管理公社解散
	4月	全小学校在英語教育特区事業実施
	1月	にぎわいプラザふてんま館オープン
	4月	9万人目の市民達成記念セレモニー
	4月	市ファミリーサポートセンター開所式
	5月	自動窓口受付等システム稼働式
	6月	市要保護児童対策地域協議会発足
2008年(平成20年)	6月	シルバーパスポート事業開始
	10月	市青少年サポートセンター開所式
	10月	オリジナル健康体操・オリジナル曲完成
	11月	本庁舎内証明書自動交付機設置
	2月	市立博物館へ証明書自動交付機設置
2009年(平成21年)	4月	マリネ支援センター「まりりん宜野湾」オープン
	10月	宜野湾市地域職業相談室オープン
	2月	都市機能用地第三街区に総合スポーツレジャー施設がオープン
	7月	トロピカルビーチで初めてウミガメのふ化を確認
2010年(平成22年)	11月	辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会
	1月	男女共同参画都市宣言
	3月	宜野湾市で沖縄国際映画祭開催
	4月	都市機能用地第二街区に大型コンドミニアムホテルオープン
	7月	基地の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会
2011年(平成23年)	5月	人間の輪で普天間基地を包囲する県民大行動
	6月	我如古児童センターオープン
	8月	美ら島沖縄総体開催(アーチェリー競技、卓球競技)
	1月	市水道事業通水50周年記念式典
	4月	農水産業振興拠点施設「ぎのわんゆいマルシェ」オープン
	10月	世界のジノーンチュ歓迎の夕べ開催
	4月	19区から愛知区へ名称変更
	6月	普天間飛行場へのオスプレイ配備等に反対し、固定化を許さず早期閉鎖・返還を求める宜野湾市民大会
2012年(平成24年)	7月	市制施行50周年記念式典
	7月	都市機能用地第一街区に大型商業施設オープン
	11月	米軍と津波発生時における基地内通行に関する協定締結
	11月	市女子バスケットボールチームへ初の市民栄誉賞
2013年(平成25年)	1月	我如古スンスアーミー保存会結成
	10月	都市機能用地第三街区(駐車場等用地)に公共駐車場を併設した大型総合スポーツ専門店オープン
	12月	愛知地域で住居表示実施
2014年(平成26年)	2月	



宜野湾市市勢要覧2014

発行：宜野湾市 企画：宜野湾市役所 企画部 秘書広報課 〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩1丁目1番1号
TEL:098-893-4411 FAX:098-892-7022 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/>
発行年月：2014年3月 編集/印刷：丸正印刷株式会社